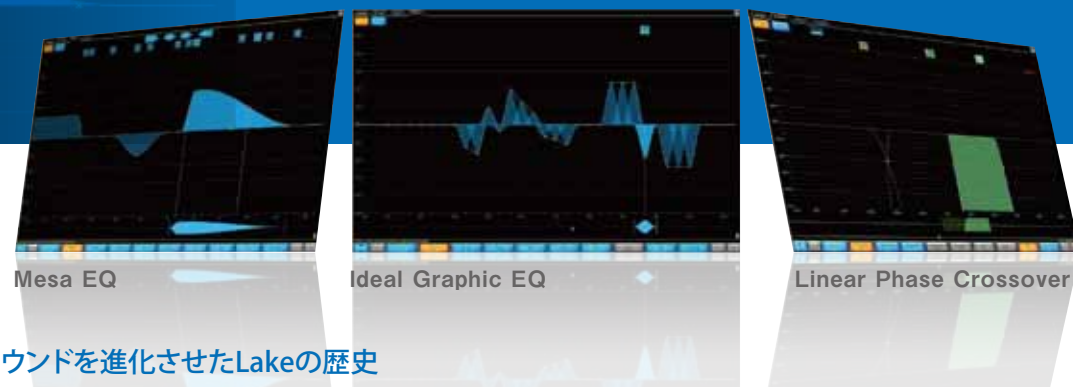


lake  
PROCESSING



## Lake Processingとは?

### 先進の機能を直感的な操作で

Lake Processingは、ライブサウンドのあらゆる場面で最適な音作りを可能にするテクノロジーです。非対称なEQカーブ特性を持つMesa EQ、バンド間の干渉を最小限に抑えるIdeal Graphic EQ、位相特性を乱さずに急峻なスロープを可能にするLinear Phase Crossover。これらを中心とするLake Processingならではのサウンドプロダクションにより、会場の規模や音響特性、スピーカーの種類やメーカーに左右されることなく、最適なサウンド空間を構築します。さらに直感的なユーザーインターフェースを備えたLake Controllerは、慌ただしい現場でも効率的な音作りを実現します。



### ライブサウンドを進化させたLakeの歴史

1990年代後半、世界的に著名なツアリング・レンタルカンパニー「Clair Brothers」のサポートの元、ライブサウンドエンジニアBruce Jackson氏とDSPアルゴリズムの革新的クリエイターDavid McGrath氏によりLake Processorの歴史はスタートします。「直感的で自由度の高い音作りが可能なスピーカプロセッサ」をコンセプトに彼らは、2001年、革新的なスピーカプロセッサ「Lake Contour」とシステムEQ「Mesa Quad EQ」を発表します。ライブサウンドのクオリティとエンジニアの作業スピードを劇的に向上させたLake Processorは、プロフェッショナルの現場に一気に広まっていきました。

その後2004年には「Lake Contour」と「Mesa Quad EQ」の機能を一台で実現する画期的なモデル「Dolby Lake Processor」を発表。ハイエンドのライブサウンドの世界において圧倒的なプレゼンスを獲得しました。2007年にはLab.gruppenとの協業により「PLM10000Q」が登場、その後LakeテクノロジーはLab.Gruppenの手へと引き継がれ、近年、Lakeブランドの下で「LM26」「LM44」といった画期的な製品を次々と発表しています。そして2011年11月、ヤマハはLakeとの技術提携により「MY8-LAKE」を発表しました。ヤマハデジタルミキサーにLake Processorの機能を融合することで、パワフルかつフレキシブルなサウンドマネジメントが実現します。

### 仕様

対応サンプリング周波数	44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz
内部動作周波数	96kHz (SRC内蔵)
コネクタ	D-sub 25 pin(AES/EBU 8in/8out)、RJ-45(for Lake Controller)
対応機器	CL5/3/1、PM5D/-RH、DSP5D、M7CL、LS9、DM2000、02R96、DM1000、01V96i、DME64N/24N、TXn、DIO8 (PM1D)

\*MY8-LAKEをPM5D/-RHとお使いになる場合、PM5D/-RHのハードウェアの有償アップグレードが必要になります。

YAMAHA

歴史的な出会い。

Lake Processing Card

MY8-LAKE



YAMAHA

感動を・ともに・創る

ヤマハ株式会社

お客様お問い合わせ窓口  
プロオーディオ・インフォメーションセンター (電話受付: 祝祭日を除く月~金 / 11:00~19:00)  
TEL: 03-5791-7678 FAX: 03-5488-6663 オンラインサポート <http://proaudio.yamaha.co.jp/support/>

PA事業部 〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1  
<http://proaudio.yamaha.co.jp>

●すべての仕様は予告なく変更する場合があります。  
●本カタログに記載の社名・製品名等は、各社の商標または登録商標です。  
●本カタログに印刷された商品の色調は、実際の商品と多少異なる場合があります。

VEGETABLE  
INK  
このカタログは  
環境にやさしい  
印刷されています

このカタログは  
無毒無臭白 (ECP) パルプ  
を使用しています

Printed in Japan

カタログコード QCG1111  
2011年11月作成

# Lake Processingを デジタルミキサーで。

ライブサウンドの世界において、ラウドスピーカープロセッシングのスタンダードとなっているLake Processor。MY8-LAKEは、ヤマハとLakeの技術提携により実現した、ヤマハデジタルミキサー用DSPカードです。Mesa EQ、Ideal Graphic EQ、Linear Phase Crossoverをコンパクトなカードに集約。圧倒的な処理能力を備え、緻密で革新的なサウンドメイクを、直観的な操作で行なうことができます。



8 IN/8 OUTのMesaモード(システムEQ)、4 IN/12 OUTのContourモード(クロスオーバー)、またはその組み合わせによる多彩な使用が可能。



ヤマハデジタルミキサーのインサートポイントや、MY8-LAKEカードのAES/EBU端子を活用することで、フレキシブルなシステム構築が可能。



96kHz内部プロセッシング、44.1kHz、48kHz、88.2kHzにも対応。



PCアプリケーション“Lake Controller”により、他のLake機器も含めたシステムの一元管理が可能。



音響測定ソフト「Smart」との高い親和性を持ち、快適なスピーカーチューニングが可能。

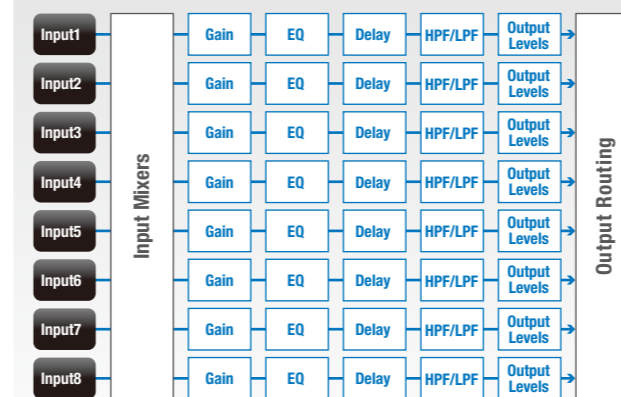


1000種類以上の豊富なスピーカープリセットを搭載し、さまざまなアプリケーションに対応。的確でスピーディな音作りをサポート。

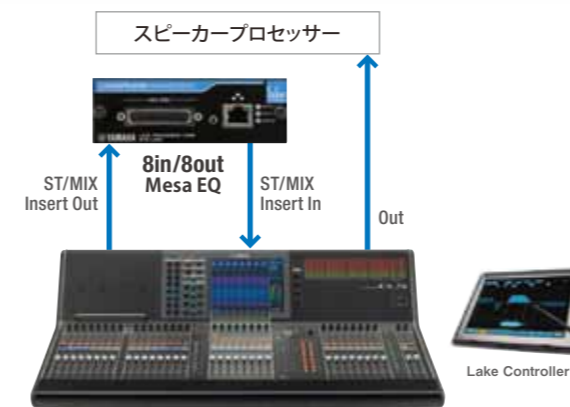
## 用途に合わせて 選択できる3つのモード

MY8-LAKEには3つのモードが用意されています。モードを切り替えることで、さまざまなアプリケーションに対応した使い方ができます。

### 1 Mesaモード(システムEQ) 8in 8out

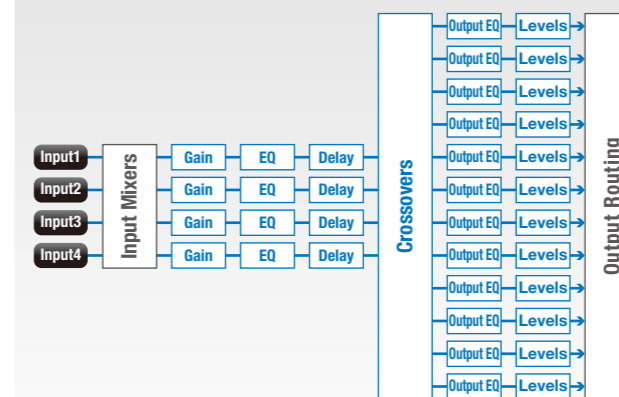


■ システムEQ on CL5

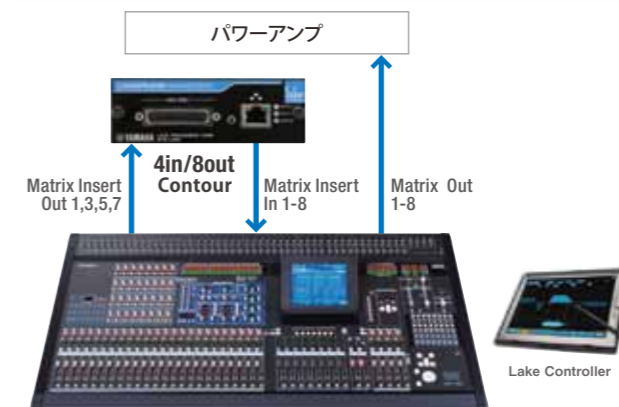


\*8系統のシステムEQ。  
\*MY8-LAKEカードのAES/EBUアウトからも出力可能。  
\*MY8-LAKEを複数枚使用した場合でも、Lake Controllerを通じてEQのグルーピングが可能。

### 2 Contourモード(クロスオーバー) 4in 12out

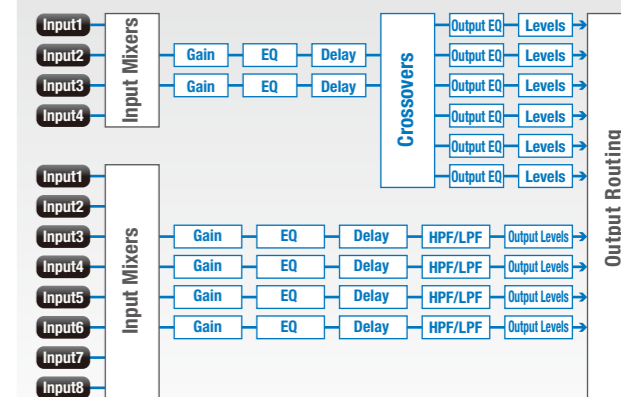


■ クロスオーバー on PM5D

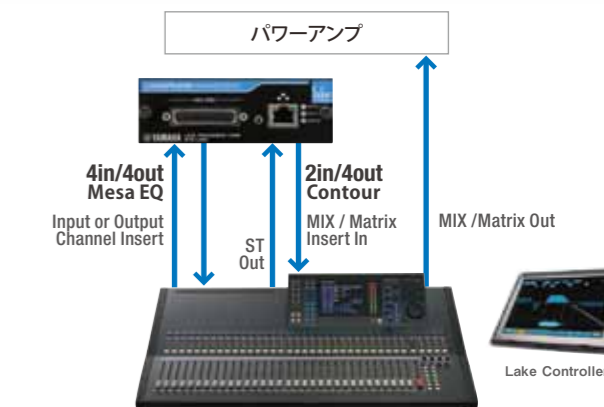


\*4系統のクロスオーバー(2way)。  
\*MY8-LAKEのAES/EBU端子を併用することで計12outも利用可能。  
\*MY8-LAKEをPM5D/RHとお使いになる場合、PM5D/RHのハードウェアの有償アップグレードが必要になります。

### 3 Mesa&Contourモード(コンビネーション) 4in 4out & 2in 6out



■ インプット/アウトプットEQ & クロスオーバー on LS9



\*2系統のクロスオーバー(2way)に加えて、4系統のMesa EQをインプットチャンネルやモニタースピーカーのEQとして使用。  
\*MY8-LAKEのAES/EBU端子を併用することで計6outのContourも利用可能。